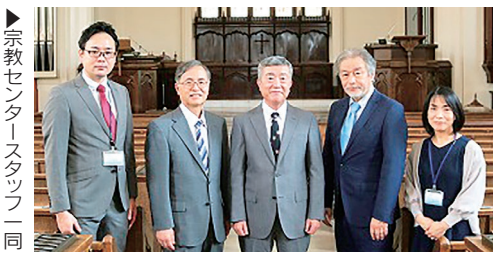
東北学院宗教センター開設

宗教センターのご紹介

長く検討を重ねてきました東北学院宗教センターがこの四月から発足いたしました。このセンターは、東北学院の設置学校全体のキリスト教活動をまとめる働きをします。それぞれが地理的に離れ、学校の特色も異なっている、大学、二つの高等学校、中学校、幼稚園が、相互交流やパンフレットなどの印刷物を通して東北学院らしいつながりを形成することを目的としています。

センター編の出版物は、「キリスト教活動パンフレット」、「いのちひかりあい」、「東北学院宗教活動報告書」などがあり、東北学院全体のキリスト教活動の紹介や案内をする役割を担います。すでに出版されたものについては、ぜひ各キャンパス礼拝堂入り口などでご覧ください。


▶宗教センタースタッフ一同

活動場所として、土樋キャンパスラーハウザー記念東北学院礼拝堂の入り口にセンター室とセンター談話室が設置されました。ここが学生たちの相談窓口となり、キリスト教に関する質問や交流の場となるように願っています。

このような活動に加えて、文部科学省の私立大学研究ブランディング事業で行っていたいくつかの活動をこのセンターが担い、継続していく予定です。具体的には、水曜公開礼拝企画や、「水曜通信」の発行、ランカスター神学校との交流、公開講座などの実施です。

水曜公開礼拝に関しては、現在新型コロナウイルス感染防止のために開くことはできませんが、収束した時には再開いたします。「水曜通信」は、何号かを合併して、九月に宗教センターから第一号を発行することができました。以後、毎月発行する予定です。紙媒体も用いますが、電子媒体でどこからでも「水曜通信」にアクセスできるようになります。

学校法人東北学院と東北学院大学のホームページに宗教センターのホームページが新設されますので、そこをご覧になると、センターの活動の様子や行事予定、さらに動画で配信する水曜公開礼拝、そして「水曜通信」が読めます。現在少しずつ内容を増やし、充実したホームページにしたいと願っていますので、これから期待していてください。

なお「教職員聖歌隊」の活動もここに拠点を置くことにしましたので、教職員の方々、同窓生、学院関係の皆さんは是非奮ってご参加ください。現在は毎月第四水曜日の夜に、ビデオ会議アプリ「Zoom（ズーム）」で合唱練習を行っています。

宗教センターのスタッフは、所長に大西晴樹院長・学長、実務責任者としてセンター主任を野村信（宗教部長）が兼任し、職員として大久保知美さんがセンター室で勤務しています。このメンバーにセンターチャプレンと主事が近々就任する予定です。

始まったばかりのセンターですが、週日、開室しますのでお気軽に訪ねください。皆様の温かいご支援とご協力を心よりお願いいたします。

〈宗教センター主任
宗教部長　野村　信〉

シリーズ　東北学院の偉人たち

第1回　高橋潔と大曾根源助

東北学院史資料センター

百三十四年の歴史を持つ東北学院には、まだあまり知られていないたくさんの偉人が存在します。そんな偉人たちを紹介していくシリーズです。

高橋潔と大曾根源助は聴覚障害を持つろう者に対する教育に尽力し、大きな功績を残した人たちです。この二人がどのような人物で、日本のろう教育にどのような功績を残したのかを紹介したいと思います。

高橋潔は一九一三（大正二）年に東北学院専門部文科を卒業し、声楽の勉強のためにフランス留学を試みますが、経済的理由で断念します。その際、当時の院長シュネーダーに「外国へなど行かないで日本の幸せの少ない人達のために尽くしなさい」と言われ、一生を音の世界から遮断された人のために生きようと決意し、大阪でろう教育に献身することになります。高橋は生涯シュネーダー夫妻を父母のように慕っており、亡くなった時には胸ポケットから夫婦の写真が見つかったそうです。

高橋の人柄は天性温厚誠実である一方、非常に情熱を持った人物であったと言われています。そんな高橋はろう児への宗教教育の必要性を感じ、当時校長を務めていた大阪市立聾唖学校で、仏教とキリスト教に分かれた土曜学校を開始しました。そこでは仏教の生徒がクリスマスに教会へ行くというような宗教を超えた交流がなされていました。また、学校は生徒と教師の関係が家族的で、おおらかな雰囲気があったようです。

一方、当時の鳩山一郎文部大臣も「聾児に在りましては、日本人たる以上、我が国語をできるだけ完全に語り、他人の言語を理解し言語に依っての国民生活を営ましむることが必要であります」と述べていたように、口話こそがろう者のとるべき道とされていました。これに対し、高橋は「精神方面の教育には到底口話を以てすることは困難」であり「聾唖語である手話に據（よ）らねばならぬ」と、手話の重要性を主張しました。そして、高橋は他校がろう者教員を退職させていくなかで、逆にろう者教員を増員させていったのです。こうした手話に対する高橋の姿勢は、次に紹介する大曾根源助へとつながっていきます。

▶高橋潔（左）と大曾根源助

大曾根源助は一九一九（大正八）年に東北学院専門部文科を卒業後、姉に先輩である高橋を助力するように勧められ、大阪でろう教育に従事することになります。大曾根は口話法が実際どれほどの成績を挙げているのか疑問を抱き、一九二九（昭和四）年にアメリカへ視察に向かいました。大曾根はアメリカ各地の聾唖学校を視察する途中、ヘレン・ケラーのもとを訪れた際に、日本における新しい指文字の必要性を説かれ、盲聾共に通じる指文字の創案を約束しました。また、この縁もあって一九三七（昭和十二）年にはヘレン・ケラーが東北学院を訪れ、現在の土樋キャンパス本館前で講演を行いました。

大曾根はこうしたヘレン・ケラーとの出会いを経て、欧米の指文字を参考にした新しい指文字の原案を作成し、一九三一（昭和六）年には大曾根式指文字を完成させました。これは二人が勤めていた大阪市立聾唖学校で正式採用され、その後全国へと普及していきました。

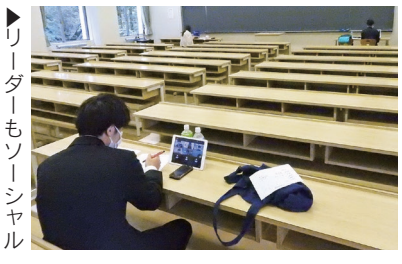
高橋によるろう児への愛情と手話の重要性の主張、そして大曾根のヘレン・ケラーとの指文字創案の約束が、大曾根式指文字の誕生へとつながり、日本で現在も使われている手話の基礎となったのです。

新入生オリエンテーション

オンラインで開催

九月十四日から十六日までの三日間、ビデオ会議アプリ「Zoom（ズーム）」を用いてオンラインによる後期新入生オリエンテーションが開催された。

九時三十分から十六時三十分まで各学科、グループごとにタイムテーブルが組まれ、グループ主任とオリエンテーションリーダーたちが交代で対応した。例年、新入生オリエンテーションは対面で実施してきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、対面での開催に不安を感じる学生もいること、運営するオリエンテーションリーダー、グループ主任を含め約三千名を動かす運営上の問題などを考慮し、オンラインでの対応となった。


▶リーダーもソーシャルディスタンス

当日は、泉キャンパスに九十八名、多賀城キャンパスに十八名のオリエンテーションリーダーが集まり、十時からオンラインでグループ主任の教員とのコーディネート、新入生同士の自己紹介など、授業や大学生活、課外活動についての質疑応答を通じて、初めて顔を合わせる同級生との円滑なコミュニケーションの構築を図った。

本行事への新入生の参加率は九割を超え、開催後には「たくさんの同級生と顔を見て話すことができうれしかった」など好意的な意見が多数寄せられた。

◀オンラインで会話

寄付者ご芳名

ご芳志に心から感謝いたします。

（2020年8月1日～9月30日までのご寄付者）

◆創立百三十五周年記念募金

【アーバンキャンパス整備事業募金】

〈個人〉
金三四、〇〇〇円　匿名殿
金三〇、〇〇〇円　小柴 徹修殿
金一〇、二五五円　伊藤 秀夫殿
金一〇、〇〇〇円　匿名殿
金六、〇〇〇円　川島 堅二殿
金五、〇〇〇円　匿名殿

【東北学院大学緊急給付奨学金募金】

〈個人〉
金二〇、〇〇〇円　佐久間 政広殿
金一〇、〇〇〇円　匿名殿
金三、〇〇〇円　匿名殿

【学校法人東北学院 新型コロナウイルス対応学生・生徒支援募金】

〈団体〉
金一五〇、〇〇〇円　日本基督教団 仙台東一番丁教会殿
〈個人〉
金一〇〇、〇〇〇円　匿名殿（4名）
金八六、〇〇〇円　匿名殿
金五〇、〇〇〇円　匿名殿（2名）
金四五、〇〇〇円　匿名殿
金三〇、〇〇〇円　間庭 洋殿
櫻井 一弥殿
匿名殿
金二〇、〇〇〇円　福野 光輝殿
三浦 秀明殿
匿名殿（2名）
金一五、〇〇〇円　匿名殿
金一〇、〇〇〇円　尾本 満雄殿
新田 幸生殿
石山 寛子殿
高橋 信二殿
匿名殿（3名）
金五、〇〇〇円　安齋 四郎殿
仙石 孝一殿
匿名殿
金三、〇〇〇円　石黒 航平殿
匿名殿
金一、〇〇〇円　匿名殿

【学校法人東北学院 新型コロナウイルス対応学生・生徒支援募金（大学）】

〈個人〉
金一〇〇、〇〇〇円　塚本 信也殿
金一〇、〇〇〇円　五井 悦夫殿
金一、〇〇〇円　匿名殿

【学校法人東北学院 新型コロナウイルス対応学生・生徒支援募金（中高）】

〈個人〉
金一〇、〇〇〇円　五井 悦夫殿
高岡 英一殿

【学校法人東北学院 新型コロナウイルス対応学生・生徒支援募金（榴ケ岡）】

〈個人〉
金四五、〇〇〇円　匿名殿

【東北学院中学校・高等学校奨学金募金】

〈個人〉
金五、〇〇〇円　松﨑 亮殿

【東北学院榴ケ岡高等学校教育環境整備募金】

〈個人〉
金三〇、〇〇〇円　匿名殿

◆月浦奨学基金

〈個人〉
金二〇、〇〇〇円　匿名殿

公開クリスマス

〈動画配信〉

第71回公開東北学院クリスマス

■日　時
12月18日（金）動画公開予定

■礼　拝
阿部倫太郎牧師（東和歌山教会）

■合　唱
メサイア（聖歌隊とソリストによる合唱）

■主　催
学校法人東北学院・東北学院同窓会

※今年度の泉キャンパスクリスマスは、コロナウイルス対策のため中止となりました。